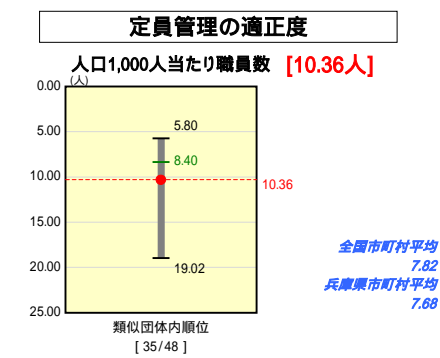
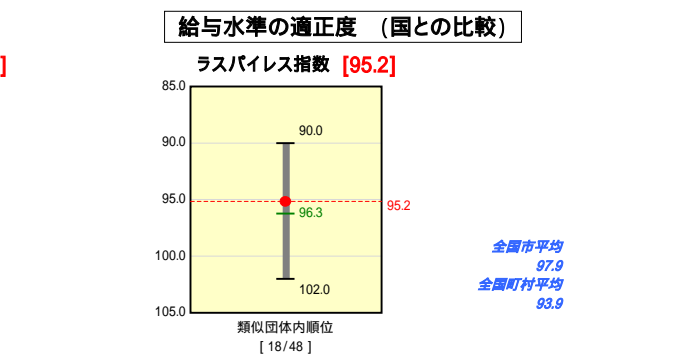
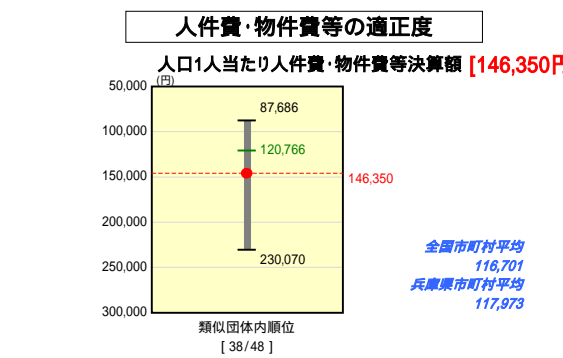
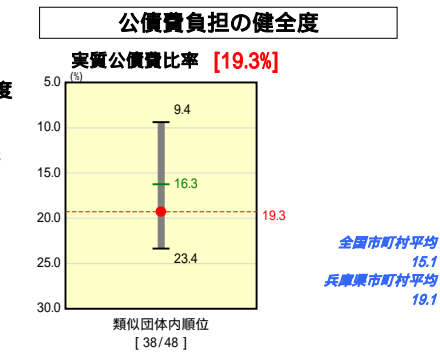
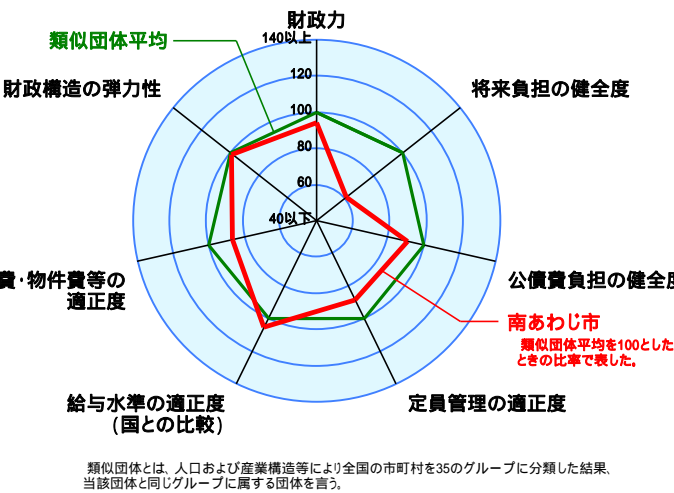
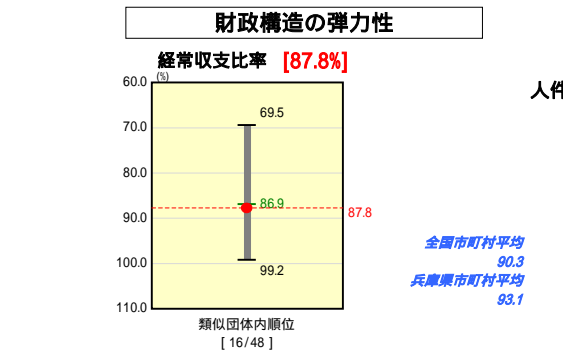
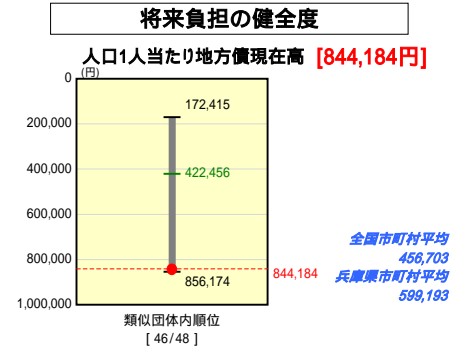
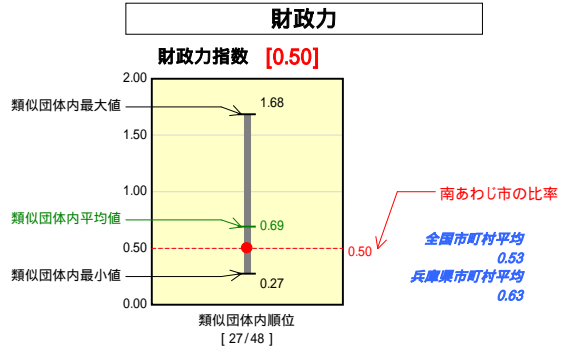


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 兵庫県 南あわじ市

人口	53,451	人(H19.3.31現在)
面積	229.17	km <sup>2</sup>
歳入総額	28,604,482	千円
歳出総額	27,606,343	千円
実質収支	873,890	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

#### 財政力指数

合併以降、数値は下がっていないものの、類似団体平均と比較すると指数は悪い。都会への人口流出や少子高齢化、また安定的な法人税収がないことなど種々の要因を考慮すると、今後しばらく税収の増加は期待できない。よって今後は「集中改革プラン」及び、平成20年2月、自主的に策定した「財政健全化計画」に基づいて歳出全般にわたる抜本的な見直しを実施し、歳出削減、定員管理・給与の適正化等、一層の財政健全化に努める。

#### 経常収支比率

扶助費、公債費及び繰出金の増加により、類似団体平均と比較すると若干悪い水準にある。しかし、定員の適正化や諸手当の見直しなど人件費の抑制に努めたこと、また所得課税が増加したことなどにより、前年度の89.0%から1.2ポイントの改善が見られた。今後も引き続き「集中改革プラン」・「財政健全化計画」に基づき「義務的経費の削減」に取り組み、特に起債の抑制や繰上償還による公債費の軽減に努める。

#### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額

合併に伴い旧町の施設を多く抱えているため、施設の維持管理経費が高んでいることにより、類似団体平均より悪い水準にある。しかし、「集中改革プラン」に基づく指定管理者制度等により、経費削減に努めている効果も少しずつ表れており、前年度と比べ1人当たり5,391円の改善も見られた。今後もいっそうの経常経費の削減を図る。

#### 人口1人当たり地方債残高

合併前から生活基盤整備のために発行してきた多額の地方債が市財政を圧迫しており、類似団体平均と比較して非常に悪い水準にある。「財政健全化計画」に基づき、新たな起債を最小限に抑制し、繰上償還を実施することで地方債残高の減少を図り、後世への負担軽減に努める。

#### 実質公債費比率

下水道事業など過去の大規模事業による地方債の元利償還金が増加傾向にあり、類似団体平均と比較して悪い比率となっている。公債費は平成21年度をピークに平成26年度までは高い水準で推移すると見込まれるが、「財政健全化計画」に基づく起債の抑制、繰上償還の実施により、平成25年度までに18.0%未満となるよう取り組む。

#### 人口1,000人当たり職員数

合併後間もないことから、類似団体平均と比較すると1.96人多い。「定員適正化計画」に基づき、新規採用者を退職者の1/2に抑制するなど、平成32年度で職員数を500人(平成18年度現在658人)とするよう取り組む。

#### ラスパイレズ指数

従来から、給料表の見直しや管理職手当など諸手当の見直し、58歳昇級停止などに取り組んでおり、類似団体平均のみならず全国市平均と比較しても良い数値を示している。今後も、定員管理とあわせ人件費の適正管理に努める。